I·O DATA

B-MANU200556-02

2 Windows 版 セットアップガイド ESA-EXC

注意 **本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。**
Windows Vista®をお使いで、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[続行]ボタンを押してすすめてください。

取り付ける前に本製品のシリアル番号(S/N)をメモしてください。
(別紙【①はじめにお読みください】の【箱の中には】参照)

1 インストールする

●「サポートソフトCD-ROM」内の、サポートソフトをインストールします。
※「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

まだ本製品をパソコンに取り付けないでください

1.ドライバソフトのインストール

ドライバソフトをインストールします。
本製品をWindowsで使用できるようにします。

❶ 本製品を取り付けていない状態で、パソコンの電源を入れます。

❷「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

❸ 表示されたCDメニューの[ドライバー]ボタンをクリックします。

CDメニューが表示されない場合・・・
1.［マイコンピュータ］を開きます。
2.サポートソフトが収録されているCD-ROMドライブをダブルクリックします。
3.［menu.exe］をダブルクリックします。
→ CDメニューが表示されます。

❹ 後は順に[次へ]、[完了]をクリックします。

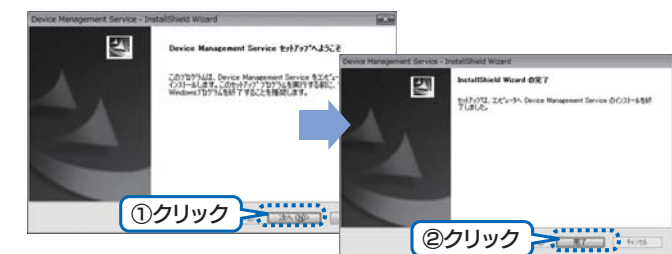
以上でドライバソフトのインストールは終了です。
次に「デバイス管理サービス」をインストールします。

2.「デバイス管理サービス」のインストール

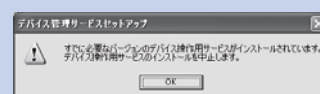
「デバイス管理サービス」は、管理者権限以外の制限ユーザーの場合でも本製品に接続した機器を取り外しできるようにするユーティリティです。
インストールするだけで有効になります。

注意
・Windows Vista®でSATAUnplugを使用する場合は必ずインストールしてください。
・Windows XPで管理者ユーザーのみで使用する場合は、インストールの必要ありません。

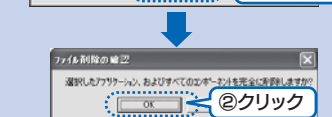
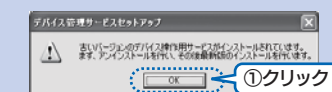
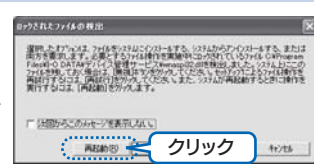
❶ 表示されたCDメニューの[デバイス管理サービス]ボタンをクリックします。

❷ 後は順に[次へ]、[完了]をクリックします。

以上で「デバイス管理サービス」のインストールは終了です。
次に「デバイスアンプラグユーティリティ」をインストールします。

「デバイス管理サービス」のインストールについて

注意 すでに同一バージョン、あるいは、新しい「デバイス管理サービス」がインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。

インストールの必要はありません。
[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

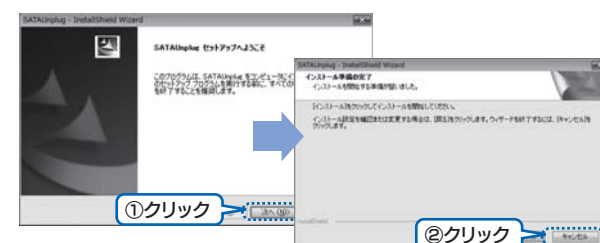
※以前に古いバージョンの「デバイス管理サービス」がインストールされていた場合は、以下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックし、画面の指示に従って以前のバージョンをアンインストールし、再度「デバイス管理サービス」をインストールし直してください。

①クリック
②クリック

途中で、右のような「ロックされたファイルの検出」画面が表示された場合は、[再起動]ボタンをクリックしてください。

クリック

3.デバイスアンプラグユーティリティのインストール

デバイスアンプラグユーティリティ(SATAUnplug:サタアンプラグ)をインストールします。
本製品に接続したeSATA接続機器を取り外す際に使用します。

❶ 表示されたCDメニュー画面の[SATAUnplug]ボタンをクリックします。

❷ 後は順に[次へ]、[インストール]をクリックします。

❸ [完了]ボタンをクリックします。

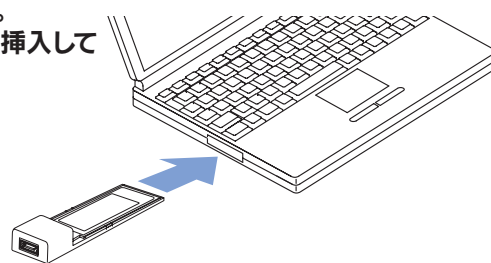
以上でサポートソフトのインストールは終了です。
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

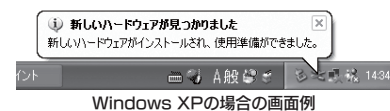
注意 [デバイスアンプラグユーティリティ]使用時は、「コンピュータの管理者」のユーザーでご利用ください。
制限ユーザーでご利用になる場合は、別途「デバイス管理サービス」のインストールが必要になります。
詳細については、左の【[デバイス管理サービス]のインストール】を参照してください。

2 パソコンに取り付ける(本製品をパソコンに取り付けます)

まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ パソコンの電源が入っていること(Windowsのデスクトップ画面が表示されていること)を確認します。

❷ 本製品のラベル面を上にして、ExpressCardスロットに挿入します。奥まで確実に挿入してください。

❸ 本製品をパソコンに取り付けると以下の画面が表示されます。画面が消えるまでお待ちください。

Windows XPの場合の画面例

注意 本製品は、ExpressCard規格に準じていますが、ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。

万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。
ExpressCardスロットに取り付ける際には、必ずパソコンの取扱説明書を参照してください。

●パソコンの電源が入っている状態で、本製品を挿入します。
●必ずカードのラベル面を上にして挿入してください。
●パソコンによって、イジェクトボタンが飛び出すタイプや、押し込むだけなど様々です。詳細については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 取り付けを確認する

●デバイスマネージャで本製品の取り付けを確認します。

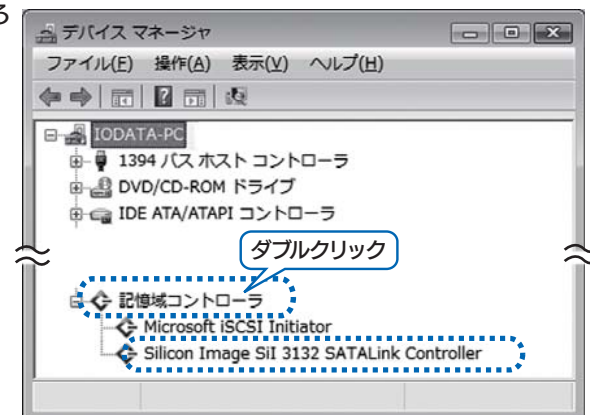
まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ [スタート]-[コンピュータ(マイコンピュータ)]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
※Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]を右クリックします。

❷ 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。(Windows Vista®の場合)
※Windows XPの場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

❸ [記憶域コントローラ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。(右の画面参照)
※Windows XPの場合は、[SCSIとRAIDコントローラ]をダブルクリック。

[Silicon Image Sil 3132
SATALink Controller]

上記が表示されていれば本製品は使用できます。

確認したドライバの頭に「！」や「×」マークがあるときは

原因1 正しくインストールされていません。
対処 サポートソフトを削除（下記【インストールしたサポートソフトを削除する場合】参照）した後、本製品を取り外し（裏面【本製品をパソコンから取り外す場合】参照）、再度【1 インストールする】からの作業を行ってください。

原因2 リソースがうまく割り当てられていません。

対処 Windowsを再起動してください。

インストールしたサポートソフトを削除する場合

インストールした「サポートソフト」の削除方法について説明します。

❶ 本製品に接続されている全てのeSATA接続機器を取り外します。
⇒取り外し方については、裏面の【本製品からeSATA接続機器を取り外す場合】を参照してください。

❷ 本製品をパソコンから取り外します。
裏面の【本製品をパソコンから取り外す場合】を参照してください。

❸ [スタート]→[コントロールパネル]を開き、[プログラムのアンインストール]または[プログラムの追加と削除]を開きます。

❹ 一覧から削除するソフトウェアを選択後、[アンインストール(アンインストールと変更)]または[変更と削除]ボタンをクリックします。

●ドライバソフトを削除する場合
[Windows ドライバ パッケージ - Silicon Image (SiI3132) SCSIAdapter]を選択

●「デバイスアンプラグユーティリティ」を削除する場合
[SATAUnplug]を選択

●「デバイス管理サービス」を削除する場合
[Device Management Service]を選択

後は画面の指示に従ってください。
以上で、インストールしたサポートソフトの削除は終了です。

4 eSATA接続ハードディスクを接続する

本製品にeSATA接続ハードディスクを接続する場合、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなります。
必ず、eSATA接続ハードディスクに付属の取扱説明書、および、以下の注意事項をお読みください。

eSATA接続ハードディスクを接続する前に

本製品は、WindowsのACPI機能には対応しておりません。従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

- ●スリープ・スタンバイ機能は無効に設定してください。
  詳細は、別紙［①はじめにお読みください］の【[電源オプション]のスリープ・スタンバイ機能は無効に設定する】参照
- ●Windows終了時の[スタンバイ]、[スリープ]、[休止状態]は実行しないでください。
  詳細は、別紙［①はじめにお読みください］の【Windows終了時[スタンバイ][スリープ][休止状態]は実行しない】参照

●ACPIとは…
Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenixが共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格です。ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができます。

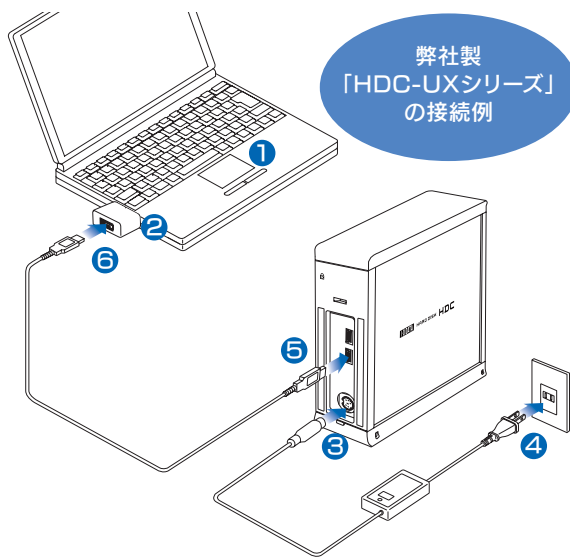
eSATA接続ハードディスクを接続する

! 接続時のポイント

●Windowsが起動した後で接続する
ご利用のパソコンの機種によっては、本製品を取り付けたままパソコンを起動、あるいは、再起動すると、パソコンが正常に起動しない場合があります。
万一、パソコンが起動しなくなった場合は、一度、本製品を取り外してから起動してください。

●本製品が抜けないよう細心の注意を払う
ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。ケーブルを取り外す場合は、eSATA接続機器側のケーブルから取り外してください。

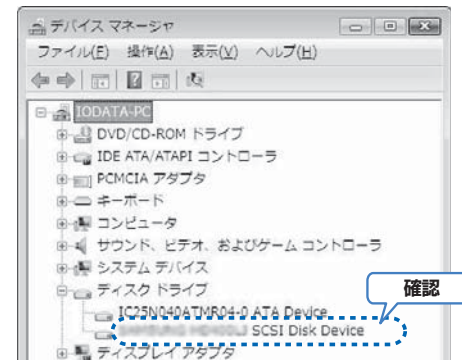
弊社HDC-UXシリーズの接続方法については、HDC-UXシリーズの取扱説明書も参照してください。

1. 本製品を接続していない状態で、パソコンの電源を入れます。
2. パソコン起動後、本製品のみをパソコンに接続します。
3. ACアダプターをHDC-UXシリーズに接続します。
4. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
5. eSATAケーブルをHDC-UXシリーズのeSATAポートに接続します。
6. eSATAケーブルを本製品に接続します。
   ※HDC-UXシリーズの電源/アクセス(POWER/ACCESS)ランプが青色に点灯します。

●弊社HDC-UXシリーズは、電源連動機能により、本製品に接続してはじめて電源が入ります。
本製品接続前に、HDC-UXシリーズのACアダプターを電源コンセントに接続しておいてください。電源コンセントに接続していない場合、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
●本製品にeSATA接続ハードディスクを接続した直後に、パソコンが止まったように見える場合があります。
そのまましばらくお待ちください。eSATA接続ハードディスクが認識され、使用できる状態になります。
●eSATA接続ハードディスクの動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
※HDC-UXシリーズには、電源スイッチがありません。
HDC-UXシリーズが正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんeSATAケーブルを抜いてからHDC-UXシリーズのACアダプターを接続し直した状態で、再度接続してください。また、必ずHDC-UXシリーズの取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどからeSATA接続ハードディスクが認識されない場合は、Windowsを再起動してお試しください。

eSATA接続ハードディスクの接続を確認する

本製品に接続したeSATA接続ハードディスクの接続状態は、デバイスマネージャで確認することができます。

1. [スタート]-[コンピュータ(マイコンピュータ)]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
2. 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。(Windows Vista®の場合)
   ※Windows XPの場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
3. [ディスクドライブ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。
   [xxxxxxx xxxxxxx SCSI Disk Device]
   ※ xxxxxxx xxxxxxxにはハードディスクのメーカー名や型番が表示されます。

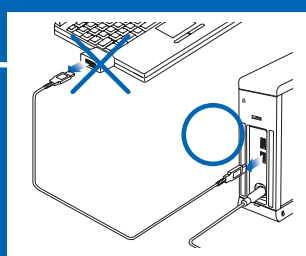
上記が表示されていればeSATA接続ハードディスクは正しく接続されています。

eSATA接続ハードディスク使う

eSATA接続ハードディスクの使い方については、本紙には記載されておりません。
HDC-UXシリーズ、RHD-UXシリーズの取扱説明書も参照してください。

本製品からeSATA接続機器を取り外す場合

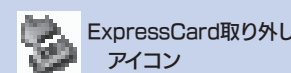
Windows使用中に、eSATA接続ハードディスクを取り外す場合は、「デバイスアンプラグユーティリティ」で取り外し手順を行った後、eSATA接続ハードディスクからケーブルを取り外します。
※ポートマルチプライヤーを使用して複数のeSATA接続ハードディスクを使用している場合は、接続しているeSATA接続ハードディスクを全て取り外し、それから本製品と接続しているeSATAケーブルを取り外します。

! 取り外し時のポイント

●ケーブルはeSATA接続機器側から取り外す
ケーブルを取り外す場合は、eSATA接続機器側のケーブルから取り外してください。
本製品側のケーブルを取り外す際は、本製品がパソコンから取り外されないようコネクタ部を押さえ、ケーブル先端のプラグ部分を持って取り外してください。
ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。

1. タスクトレイの「SATAUnplug」アイコンをクリックします。
2. 表示された［xxxxx xxxxx SCSI Disk Device - ドライブ（x:）を・・・・・］をクリックします。

3. 以下の画面を確認後、eSATA接続ハードディスクからeSATAケーブルを取り外します。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合は、使用中のソフトウェアをすべて終了してから、本手順を行ってください。
それでも同じメッセージが表示されたら、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

●取り外し時は、コンピュータの管理者権限のユーザーでログオンしてご利用ください。
制限ユーザーで取り外したい場合は、[デバイス管理サービス]をインストールしてご利用ください。(表面【「デバイス管理サービス」のインストール手順】参照)
●[SATAUnplug]アイコンとExpressCard(本製品の)取り外しアイコンは間違えないようご注意ください。(本製品の取り外しについては、右の【本製品をパソコンから取り外す場合を参照してください。)

 [SATAUnplug]アイコン　 ExpressCard取り外しアイコン

●[SATAUnplug]では、本製品に接続した以外のドライブ(内蔵SATAハードディスクなど)もメニューに表示される場合があります。
誤って内蔵SATAドライブを取り外さないようご注意ください。
もし誤って内蔵SATAドライブを取り外してしまった場合は、パソコンを再起動してください。
●[SATAUnplug]で取り外し処理を完了したeSATA接続ハードディスクからすぐにeSATAケーブルを抜いてください。
他のソフトウェアの動作によって再接続される場合があります。

本製品をパソコンから取り外す場合

Windows使用中に以下の手順を行って、本製品を取り外すことができます。
※以下の手順を行うと本製品に接続しているeSATA接続機器も使用できなくなります。

本製品は、ExpressCard規格に準じていますが、ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一、取り外し処理が完了する前に抜けますと、システムエラーの原因となりますので、本製品を抜く際には、細心の注意を払ってください。
ExpressCardスロットから抜く際には、必ずパソコンの取扱説明書を参照してください。

●パソコンによって、イジェクトボタンを押して抜くタイプや、取り付け時と同様、押し込むだけで抜けるなど様々です。
詳細については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

1. タスクトレイの取り外しアイコンをクリックします。

2. 表示された［Silicon Image Sil 3132 SATALink Controllerを・・・・・］をクリックします。

3. 以下の画面を確認します。

4. パソコンの取扱説明書を参照して、ExpressCardスロットから本製品を取り外します。

困ったときには

本製品を使っていて、トラブルがあったときにご覧ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

本製品を取り付けたままパソコンの電源を入れる、または、パソコンを再起動すると、パソコンが正常に起動しない

お使いのパソコンによって、現象が発生する場合があります。

本製品をパソコンから取り外した状態でパソコンの電源を入れます。
パソコンの起動が完了してから、本製品を取り付けてください。

地球環境を守るため、再生紙を使用しています